

保健だより

NO.5

岡山県立西大寺高等学校
生徒保健委員会
2011年11月29日発行
担当: 2-3 岩木、2-5 尾形



◎平成14年から小中高등학교へAED(自動体外式除細動器)の導入が始まり、全国の小中高등학교をはじめ、公共の場にもAEDの設置がどんどん進んでいます。

『AED』があれば救える命…。いつでも多くの命を救うために、私たちが今、『AED』への理解を深めることが大切です!!

『AED』Q&A

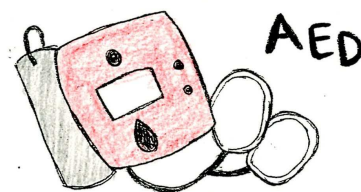
Q1. AEDって何?

A. AEDとは、自動体外除細動器(Automated External Defibrillator)のことです。人は突然倒れ、呼吸も脈となくなってしまう場合、「心停止」になることは少なく、心臓が小さく震える「心室細動」になります。この状態を正常な状態にするには「電気ショック」が必要で、このための器械がAEDです。

一刻も早く電気ショックを与えることで元に戻る可能性は高まります。

Q2. AEDがあれば万全なの?

A. AEDだけでは万全ではありません。AEDがなければ「電気ショック」ができませんのでAEDも合わせて重要です。しかし、心臓が止まっている間、脳などにしっかり血液を送り続けることが大切です。これを行うのが「胸骨圧迫」です。



～AEDの使い方(アナウンスが流れます。アナウンスの指示に従いましょう!!)～

1. スイッチON

AEDが到着したらすぐに電源を入れます。

2. パッドを貼る



倒れている人の衣服を取り除き胸をはだけます。
AEDのケースに入っている電極パッドの1枚を胸の右上に、もう1枚を胸の左下の素肌に貼り付けます。電極を貼る間もできるだけ胸骨圧迫を続けます。

3. 安全確認をして除細動ボタンをON!

離れてください。



「離れて下さい。心電図の解析中です」との音声メッセージとともにAEDが自動的に解析を始めます。

電気ショックが必要な場合は「ショックが必要です」と音声でその必要性を教えてください。周囲の人が倒れている人に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。

4. 胸骨圧迫再開



電気ショックの後は直ちに胸骨圧迫を再開します。AEDの指示に従い、約2分おきに心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。

※AEDのパッドは救急隊が到着するまで貼ったままにしておいて下さい。また、AEDの電源も切らないで下さい。

西大寺高校は…

『生徒昇降口』と『体育教官室前』の2ヶ所にAEDを設置しているのを確認しておいてください!